

大學
古典叢刊

22

正續
古事談私記
十洲抄私記

續正
古事談私記
十洲抄私記

第二期 刊行書目（太字既刊）

大學 愛媛
古典叢刊 22

正古事談・十訓抄私記

昭和五十年六月一日發行

編 者 小 泉 道

愛媛大學法文學部國語國文學研究室
大學 古 典 叢 刊 行 會

松山市文京町三
松山市小栗六丁目三一三

印刷所 有 限 会 社 青 葉 図 書 印 刷 部

松山市小栗六丁目三一三

790 松山市小栗六丁目三一一三

發 行 所 青 葉 図 書 印 刷 部

電話（〇八九九）四三一一六五
振 替 德 島 六 二 一〇

古今著聞集私記
正統古事談・十訓抄私記

- | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---------------|-------------|---------------|-----------|--------------|------------|---------------|------------|---------------|----------|------------|------------|
| 27 | 26 | 25 | 24 | 23 | 22 | 21 | 20 | 19 | 18 | 17 | 16 | 15 |
| 新古今和歌集
下 | 伝亀山院・青蓮院道円親王筆 | 新古今和歌集
上 | 伝龜山院・青蓮院道円親王筆 | 源氏物語
下 | 冷泉為相他筆鎌倉期古写本 | 源氏物語
上 | 冷泉為相他筆鎌倉期古写本 | 拾遺和歌集
上 | 伝二条為忠・世尊寺行忠筆本 | 大海集
上 | 大海集
下 | 拾遺和歌集
下 |
| 新古今和歌集
上 | 伝亀山院・青蓮院道円親王筆 | 新古今和歌集
中 | 伝亀山院・青蓮院道円親王筆 | 春鑑抄他 | 景清 | 拾遺和歌集
下 | 伝二条為忠・世尊寺行忠筆本 | 大海集
上 | 伝二条為忠・世尊寺行忠筆本 | 大海集
下 | 拾遺和歌集
上 | |

（以下三点）

凡例

研究者の検索の便をはかつて、各説話集の説話番号を、見開き左頁の左肩に付した。各説話番号の依拠は次の通り。(一)については検討不充分のまま付した。)

(一) 古事談私記

新訂増補国史大系『古事談』の標題による。

(二) 続古事談私記

新群書類從『続古事談』の各段落を大凡の目安とする。

(三) 十訓抄私記

岩波文庫『十訓抄』(石橋尚宝著『詳解』同じ)による。

(附) 宇治拾遺物語私記(草稿本)については、参考までに特徴的な部分を抄出するにとどめたから、特に番号を付さない。なお、(三)の箋注はその巻末にまとめた。

目 次

正古事談私記（矢野玄道文庫本）	一
古事談私記	三
統古事談私記	三五
十訓抄私記（矢野玄道文庫本）	六七
（附）宇治拾遺物語私記（抄）（伊曾乃文庫本）	一四九
解說	一五七

正續

古事談私記

全

表紙

見返

卷之二

相處以
富如我一
事當是也
不以爲
妙處在
於其
得失
之
間
而
不
在
於
其
外
也
故
其
事
成
敗
也
不
在
於
其
外
也
故
其
事
成
敗
也

行書本



古事談私記

古事談私記

扉ウ

古事談私記

○書籍目錄云。古事談六卷。顯兼卿抄。

卷一

○稱德天皇。傍注云。聖武御女。母光明皇后。不比等女也。初本諱天皇。後号稱德。又号高野姬。至道按。水鏡。鑿囊。妙可。聖子。望之本作兒。○手。師本作乎。不表某本右中弁。傍合見。聖子。案或曰。產婆。云皆係師本。下倣此。云。字合二男。式部卿。參議。淳和御祖。捨。○全九年。宮父贈太政大臣正二位。官調庸二。本作國內。○全九年。望之本有。付全作。一年。全有丙午二字。○四年。全有丙午二字。○道輔云。社。悞。願。望之本作社。願。作願。无。國字。任。遣。師云。恐遣。望之本作道。下全。卒云。望之。之。○淳和御宇。雄畧天皇記。水鏡下。俊賴口傳。邑菴集公。望之本。作到。罷去。望之本有矣。但。又云。一作了。但。有津字。○浦嶋子傳云。望之曰。洞海相。夕霧卷。又續浦

○添香或香傳香下取一句

卷之三 謠之
○清和天皇 実錄卷一
○讀古林氏

島子傳。舟釣。望本作瓦。全作瓦。秋秋。雷雷。全作未朝。翔。妻在
可併見。鈎鉤。全作只。○添查傳高下取一句。
昔世云。玄道云。黃帝傳謂天與皇之志。句。諷。望本。全作只。
人言。黃帝氏之精可合方。或唯。全有。
固健。玄道。裕。二國望本丸光丸。裕。本作九。玲。全有。遂白。全
上。折對。裕。先一作丸。或作丸。之字。遂白。全
表。全作緑。全作諸。望本。○清和天皇。望之曰。三代謠之。
表。全作綠。全作諸。望本。○清和天皇。寔錄卷一。
望本。李部王記。玄道。裕。大鏡裏書所。○陽成。望曰。續古木氏
引。蓋具全文可合。玄道。裕。大鏡裏書所。望曰。續古木氏
代。作代。裕。作白。全作白。○陽成院。望本。事。傳。卷一。富家傳。
不兩。又多神靈。是管內侍。八管力テケタル者也。玄道。望本。裕。川口。部氏。奉仕之法。
事。見附。不部類。ト。政家記。梵舜日。望本。裕。川口。部氏。奉仕之法。
内納仰也。室御侍玉鏡。瑞氏。有御加良美方。裕。成院御邪氣。宇治大納言。西小松
中納經。不訛。若仲。生。之。道傳。未詳。果然玉。○陽成院。御邪氣。宇治大納言。西小松
鏡。而。面。蒙。僅。坂。高。卿。上野太守。記可合。見。望本。裕。川口。部氏。奉仕之法。
聞。以。神。直。石。印。基。經。公。傳。可。合。見。第十三皇天。卷古止。玄道云。三治亦有
事。而。其。為。妄。誕。江。談。三。○延喜聖主。又云。江
如史料。○寔平法皇。今音物語。宇治拾遺。○延喜聖主。談抄一。

卷之三

○寃平法皇。今音物語、字治拾遺
十言、望之云、江談三

○延喜

聖主

一江
云抄又談

— 1 —

○延喜野行幸。按見古今著聞集卷二十、敦寔親王。天皇之子、宇智天皇也。京極大殿。义
師知足院殿。又云忠溪。○延喜比。又云江談。二景望云江談云改元延長。○公忠年頤減傍注從四
奇大藏御經。○北野緣起。○忠道案俗說舞引圍久曆以此為妾不深思也。

○貞信公。望云忠昭宣公。又云基平公。○遷都以後玄道案是天德御記之文。

難波宮。望云仁德天皇藤原宮。又云持統天皇。○冷泉院。玄道案山槐記可合考。小野宮殿。望云寔賴公。○圓融院。修注云小野宮右府記左右丞相。望之曰今昔物語廿八、雅信公兼家公。白練抄云寶和元年二月十三日太上皇幸雲林院。○右大臣已下陪從京洛野邊見物車如雲。○好忠已在召人內云玄道接世稱御遊時以曾丹太徵至見遂傳易笑柄蓋謬。

左大將。光源保、兩三位中將。義懷宰相。李○大井河道遙。望之曰白練抄云寶和二年十月十五日圓融院。辛大井河。攝政以下扈從有和歌管絃。大藏御時任參議由於彼序啟仰之。○見續古事記卷一。

惟成
正林男

都那瀨。玄道接在九井川之西俗呼唐山
小流事誤事詳六人計某考公大藏御傍注云
被任大臣言也。○花山院玄道接見江談筆之義懷傍注云
右大臣雅仁男是寺僧不修道位之福光光于此一條
攝政是寺僧不修道位之福光光于此一條見大鏡榮花集
五男。○御出家玄道接見大鏡榮花集物語古今著聞集此御出家中第六著聞集
集十三弘徽殿極德公為町尻道不隨者皆文也玄道榮花集說見筆盡
大鏡弘徽殿極德公為町尻道不隨者皆文也玄道榮花集說見筆盡
可。○花山院大入道兼不令驥給案其喜可知也○入道殿案道○大
龍。○花山院大入道兼不令驥給案其喜可知也○入道殿長公
入道殿深禪不居。安赤強頑令可。○帥殿望曰○一條院又云
入道殿大臣矣伊周十訓下第十證
抄下第十證霧袖全作滯。玄道接自此是望作○一條院御時全云
讀世繼うどうへの○喚諸卿全云讀古地火爐。玄道業見包望作人
る云。し。○事談一鑿靈異記。○於清涼殿讀岐守。傍注云
二クナガレテ。全云日本。六婚久奈力七。○臨時祭望曰十訓試業梓
有明親王孫彈正大本作手戸。○臨時祭望曰十訓試業梓抄上第一試業梓
御守清界中宮亮。

天皇時。又案、見。○治曆四年。望之云。而。○後一条院御時。又云。
吾妻鏡。練抄四。○後一條院御時。古今
音聞集三。全作。○後朱雀院儀懷。儀望本息有也定轉。作。○經
集三。中。○後朱雀院儀懷。儀望本息有也定轉。作。○經
輔御寢覺記。字治殿。望百。○後一条院御時。十訓。抄二。○顎基中納
輔御第三。字治殿。望百。○後一条院御時。十訓。抄二。○顎基中納
言。今昔物語十九、十訓抄續往生傳、元亨釋書、天皇崩。傍注云。
望玄袋草紙三、音聞集八、續世經。乞。○長元九年
年四月十七、忠臣不仕二君。玄道案、吾妻鏡、結城朝光。亦有斯
日御年廿九、忠臣不仕二君。玄道案、吾妻鏡、結城朝光。亦有斯
言。則其為誤解已久矣。如大日
祐寺。案、見。○後朱雀院。望之云。十訓。年也。玄道案、詳見春記。○
冠有三佩火方又三佩小文。所論。○此人。師承云。イ。全上。○後朱雀院。望之云。十訓。年也。玄道案、詳見春記。○
楊々物也。案。○後朱雀院。望之云。十訓。年也。玄道案、詳見春記。○
笠奉モヤシトナリ。○後朱雀院。望之云。十訓。年也。玄道案、詳見春記。○
ツアラシテ取引。案。○後朱雀院。望之云。十訓。年也。玄道案、詳見春記。○
二五辰詩。ノタヅル。○二君之由也。塔。其然。○後冷泉院。讀世經。白。○及祖禱。玄道案、
持應吉武千傳。○後朱雀院。長歌云。上代書。○山鳥云。玄道案、其射。惟鳥不一而足。世
時ノノ全編。○山鳥云。佳知。有源三位及廣。有而已。○
朝廷亦有此等事。

○堀川左府。

玄道案、見。前齋院。繙。○

卷三

物也。

○

親王。

○

春宮。

○

天皇。

○

三條。

○

六條右府。

○

右府。

○後三條院。春拜也。

○延久善政。

○宇治殿。立筈而歎息。

○太宮右府家。

○宇治大納言。

○延久四年。

○傳注後朱雀院宮御河陽

○西院皇后宮。

○中宮。

○前太政大臣。

○賴通。

○大嘗會。

○傳注云、開白次二不供奉。

○左大臣。

○前極殿。

○金泥一

○知足

○裏記。

○玄道案記。

○合。

○堀河院。

○望云、十訓抄下第丈。

○汾河漢武帝殿。

○之字、左府。

○後房。

○右府。

○玉師房。

○傳注云、左府後房。

○年有三室。

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

年譜抄

永長元年。或人記。修築李傳記。○望之云。百鍊抄云。永長元年七月
東不觀田。奉禁裏仙洞元能。○鳥羽法皇参考平治物語。玄
營侍臣。儒者至廢宮。頃此寺。○鳥羽法皇參考平治物語。玄
營侍臣。儒者至廢宮。頃此寺。○鳥羽院。

抄

○寬治比

左衛

抄

○兼權

大相國

十訓

抄

玄道

抄

馬助

玄道按

馬助數類

出

近衛院

保元

願

望之

職原。少少助。馬助。玄道按。馬助數類。出近衛院。保元願。望之
抄。一作八余院。暉。玄道。見著聞集卷六。○近衛院。保元願。望之
一作八余院。暉。玄道。見著聞集卷六。○近衛院。保元願。望之
負。○作詞或的。子。今宮。接白。小宮。二條。后腹。待賢門。
院。暉。子。○二條院御

抄

○近衛院

物語

音云

望之

第二

○貞信公。知足院。忠。八條。大相國。行。高松中納言。衡。童詔。本
作三條內府。公。○一條。伊尹。續古事談。云。望之云。朝成卿。傳注本
部。十訓抄下第九。朝成卿。大匡定。忠。○二郎。兼家。玄道。庸義公。賴。○東三条院。證。子。○御堂。
方。○二郎。通。二郎。兼家。玄道。庸義公。賴。○東三条院。證。子。○御堂。

抄

大鏡